

2025年5月16日

イオンリテール株式会社中部カンパニー

近畿日本鉄道株式会社

福山通運株式会社

NEWS RELEASE

ー 大阪で焼いたパンを名古屋で販売 ー

近鉄名阪特急「アーバンライナー」で輸送 イオン熱田店で販売！

イオンリテール株式会社中部カンパニー（事業所：愛知県名古屋市中村区、執行役員中部カンパニー支社長：石河 康明、以下「イオンリテール中部」）と近畿日本鉄道株式会社（本社：大阪府大阪市天王寺区、代表取締役社長：原 恭、以下「近鉄」）および福山通運株式会社（本社：広島県福山市、代表取締役社長：小丸 成洋、以下「福山通運」）は、5月23日（金）および24日（土）の両日、大阪の産品を近鉄が大阪難波～近鉄名古屋間で運転する名阪特急「アーバンライナー」を使用した貨客混載輸送で名古屋まで運搬し、イオンリテール中部が運営する店舗で販売する取り組みを行います。

第一弾として、大阪市で創業し、現在も同市内でパン職人による手作りを行っている鳴門屋製パン株式会社のパンを、福山通運大阪船場支店から大阪難波駅までを福山通運、大阪難波駅から近鉄名古屋駅までを近鉄が運び、イオンリテール中部が近鉄名古屋駅からイオン熱田店（所在地：愛知県名古屋市中村区）まで運んだ後に店舗にて販売します。

今回の取り組みにより、これまで大阪府内ほか近畿圏中心での販売となっていた商品を名古屋市内で販売できること、既存の物流体制での配送より約15時間早く店舗に到着させることができ、より鮮度の高い商品を提供することが可能となります。

今後も自動車運送業の担い手不足の解消やCO₂排出量の削減という社会的課題の解決に向け取り組んでまいります。



鳴門屋製パン工場



アーバンライナーへの積み込み



イオン熱田店

本件に関するお問い合わせは、

イオンリテール株式会社 中部カンパニー

広報 川瀬 (TEL：052-589-0733)

近畿日本鉄道株式会社 観光開発・地域共創部

課長 藤田 浅崇 (TEL：06-6775-3643)

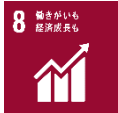
福山通運株式会社 広報・IR室

土井・甲斐 (TEL：03-3643-0292)

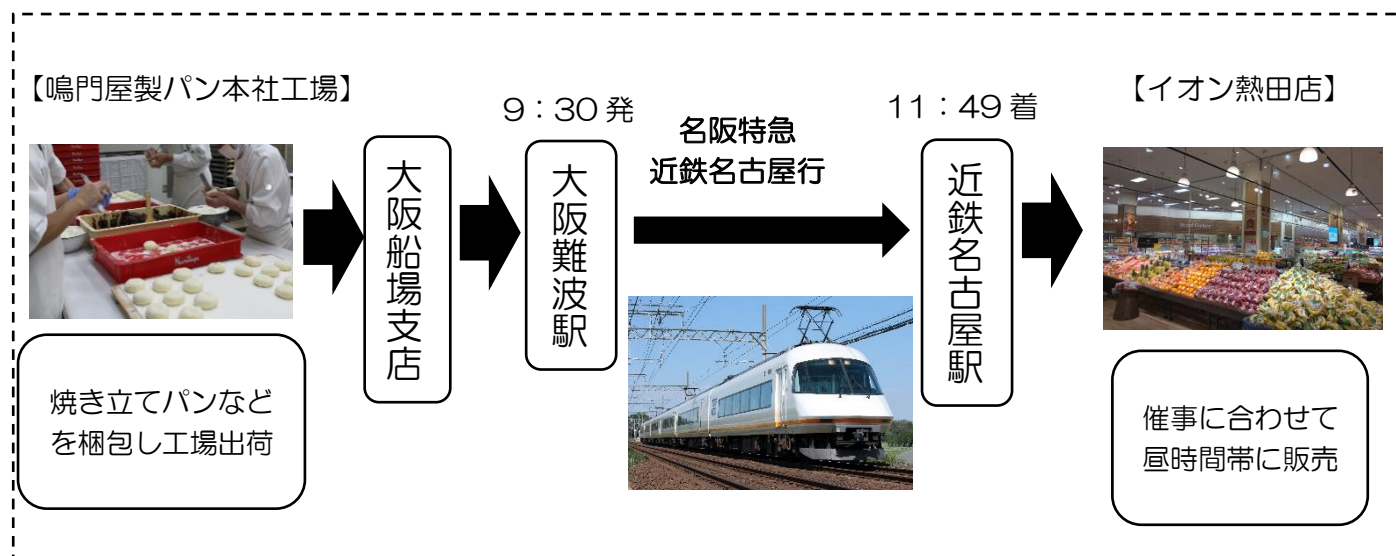
本資料の配付先：青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、東海交通研究会、名古屋経済記者クラブ、中部流通記者会

【実施概要】

1. 実施日 2025年5月23日（金）、24日（土）
2. 輸送商品 鳴門屋製パン株式会社製のパン
3. 輸送区間
 - 【鳴門屋製パン】 鳴門屋製パン工場→福山通運大阪船場支店
 - 【福山通運】 大阪船場支店 → 大阪難波駅
 - 【近鉄】 大阪難波駅 → 近鉄名古屋駅
 - 【イオンリテール中部】 近鉄名古屋駅 → イオン熱田店
4. 輸送列車 大阪難波駅9：30発 → 近鉄名古屋駅11：49着
5. 輸送フロー
 - ①福山通運が大阪船場支店より、上記の名阪特急アーバンライナーに積み込み
 - ②名阪特急アーバンライナーにて、大阪難波から近鉄名古屋間を輸送
 - ③イオンリテール中部が名阪特急アーバンライナーから荷物を積み降ろし
当日の昼頃にイオン熱田店に陳列、お客さまに販売
6. 販売場箇所 イオン熱田店 催事場
7. 期待される効果

イオンリテール中部	大阪府内を中心に近畿圏のみの販売となっていた商品を、名古屋市内で販売することによる販売機会の増大
近 鉄	特急車両内空きスペースの有効活用。物流による収益確保
福山通運	新たな輸送機会の獲得。ドライバー不足の解消、CO ₂ 排出量削減
お客さま	当日朝に大阪市の工場から出荷されたパンを、名古屋市内で昼頃に購入できる
SDGs	ドライバー不足の解消（8. 働きがいも経済成長も） 安定輸送での当日配送により利便性向上 （11. 住み続けられるまちづくりを） CO₂排出量削減の環境対策 （13. 気候変動に具体的な対策を）   

輸送フロー図（イメージ）



以上